

芦屋市立美術博物館は、平成3年に芦屋市制施行50周年記念事業として建設され、開館いたしました。美術部門と歴史部門を併せた複合施設として、芦屋ゆかりの作家の作品を中心に内外の名画、名品を気軽に楽しくご覧いただき、また芦屋の自然や歴史を実際に目で確かめ、体験する学習の場として、皆様に愛され、親しまれる市民の身近な文化施設となることを目指しています。



併設施設

■ ミュージアムショップ

これまでに行われた展覧会カタログや絵はがきなどを販売。

■ 小出櫛重アトリエ

洋画家、小出櫛重のアトリエを復元。

作家が使用し、作品のモチーフにした調度類を展示。

■ 喫茶 Café de Repos カフェ・ド・ルポ

美術博物館の庭園に隣接する喫茶店。

(営業時間：9:00～17:00)



小出櫛重アトリエ



喫茶カフェ・ド・ルポ

イベント情報

◆ 芦屋アート・バザール

春(4/26～4/27)・秋(10/4～10/5)年間2回開催予定。

◆ 古文書講座

当館学芸員または館外講師による古文書解説講座。年間4回開催予定。

※その他にも様々なイベントを予定しています。

詳細につきましては、HPをご覧ください。

| 開館時間 | 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

| 休館日 | 月曜日(祝日の場合は開館、翌火曜日休館)
年末年始 / 展示替え期間中

| 観覧料 |

区分	1人1回につき	
	個人	団体(20名以上)
一般	300円	240円
大高生	200円	160円
中小生	無料	

※展覧会によって料金が異なる場合がございます。

※高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方ならびにその介護者は各当日料金の半額になります。

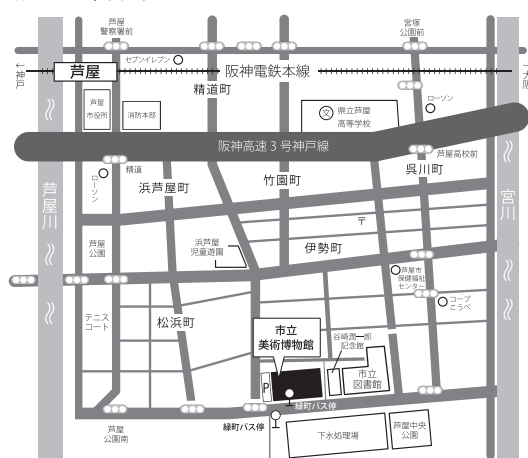
| 駐車場使用料 | 8:00～20:00 30分100円

(利用者は割引あり) 20:00～8:00 60分100円

| 施設使用料 |

区分	10:00～12:00	13:00～16:30	10:00～16:30
講義室	2,800円	4,300円	7,100円
体験学習室	4,100円	6,700円	10,800円

| 交通のご案内 |



[徒歩]
阪神電車芦屋駅から南東へ約15分

[阪急バス]

阪神電車芦屋駅南側市役所西側2番のりば(26・29・31・32・36・131系統)

阪急電車芦屋川駅南側5番のりば(31・32・36・131系統)

JR芦屋駅北側5番のりば(29・31・32・36・131系統)

「緑町(美術博物館前)」停留所下車

芦屋市立美術博物館 Ashiya City Museum of Art & History

〒659-0052 芦屋市伊勢町12-25
TEL:0797-38-5432 FAX:0797-38-5434
<http://ashiya-museum.jp/>

芦屋市立美術博物館 展覧会のご案内



Ashiya City Museum of Art & History

Exhibitions Schedule

2014.4 — 2015.3

開館 カレンダー	2014年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年 1月	2月	3月
	日月火水木金土 30/31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	日月火水木金土 1 ※2014年度の展覧会は、3月1日で終了となります

※都合によりスケジュール・内容に変更がある場合がございます。 ● …「世界を魅了したやまとなでしこ—浮世絵美人帖」 ● …「GUTAI×INTERNATIONAL 具体、海を渡る。」 ● …「art trip vol.1 窓の外、恋の旅。／風景と表現」 ● …「土器どき芦屋の物語—遺跡が語る芦屋の歴史—」 ● …「第32回芦屋市造形教育展」

第一展示室
／
第二展示室

世界を魅了したやまとなでしこ—浮世絵美人帖

3月30日(日) — 6月15日(日)

※会期中一部展示替えあり

前期: 3月30日(日) — 5月11日(日)

後期: 5月13日(火) — 6月15日(日)



歌川国芳《源氏雲浮世画面》天保14～弘化3(1843～46)年 片岡家蔵

自らが遊里に通い、数々の美人画を描いた浜斎英泉、人物を描くことを得意とした三代目歌川豊国、粹で艶やかな着物姿の女性を描いた歌川国芳、彼ら浮世絵師の紡ぎ出す女性美は、まさに江戸時代の華です。

本展では大正の時代に商社員で、芦屋に居住されていた片岡家のご当主が、国内外で集められた浮世絵のうち約120点の美人画を展示し、江戸時代の女性もつ魅力に迫ります。庶民文化が著しく発達した当時の女性の風俗をうかがい知ることができる浮世絵美人画から、女性の追い求めてきた美とは何かを今一度見つめ直して頂きたいと思えます。

歴史資料展示室

GUTAI×INTERNATIONAL 具体、海を渡る。

7月5日(土) — 9月7日(日)



第6回具体美術展 1958年 Martha Jackson Gallery, NY

1954年、芦屋。吉原治良率いる前衛美術グループ“具体美術協会”が結成されました。独創性を重視する吉原の指導の下先鋭的な活動を展開した具体は、結成当初から海外を活動の舞台として捉えていた事でも知られます。英訳付きの機関誌『具体』の発行、海外での展覧会実施、海外作家の招聘等、その活動は豊かな国際色に彩られています。本展では国際性に着目し新たな具体像を探ります。

芦屋の歴史と文化財

7月5日(土) — 11月30日(日)

平成24年に文化財として指定された芦屋川の文化的景観が育んできた芦屋の歴史をご紹介します。古代の人々の暮らし、和歌や物語に登場する風光明媚な土地柄、住宅地として街が発展した阪神間モダンニズムを中心に、古代から現代に至るまでの芦屋の歴史にご注目ください。



《仏涅槃図》江戸時代



『摂津名所図会』寛政8～10(1796～98)年

art trip vol.1 窓の外、恋の旅。／風景と表現

9月27日(土) — 11月30日(日)



林勇気《生きるということ》(再制作)2013年 Digital Photo *参考図版

古来より人々は季節を楽しみ、名勝地や景勝地の風景を愛で、海や川、空の色合いの美しさや山並みの雄大さといった自然美や都市の情景など、様々な風景を楽しみながら暮らしてきました。本展では、当館の所蔵作品と併せて、映像や写真、平面、言葉で表現した現代の作品から風景の魅力に迫るとともに、日常と美術との関わり方を見ていきます。

土器どき芦屋の物語—遺跡が語る芦屋の歴史—

12月13日(土) — 2月8日(日)



旭塚古墳土器出土状況

古代の人々の暮らしぶりを今に伝える土器や石器、古墳から出土した玉類や埴輪など、芦屋の古い歴史を物語る歴史資料は、発掘調査の成果によるものです。土中からのメッセージともいえる出土品は何百年、何千年も昔の芦屋のすがたを私たちに語りかけてくれます。本展では、市内の数多くの遺跡とその出土品をご覧いただき、芦屋の歴史がもつ魅力を発見していただきたいと思えます。

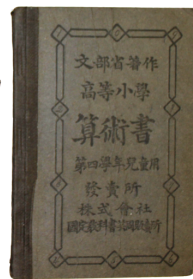
昔の暮らし—みんな昔は子どもだった

12月13日(土) — 3月1日(日)

人々の昔の暮らしぶりをご紹介します。本展において、今年度は特に子どもの生活に焦点を当てます。江戸時代から現代に至るまで学校で教えられていた事など、子どもの暮らしぶりをご紹介します。



《精道小学校校章》昭和



《算術書》明治

第32回 芦屋市造形教育展

2月21日(土) — 3月1日(日)



第30回(2012年度)の様子

市内の幼稚園・小学校・中学校生徒の作品を全館にわたり展示します。

主催：芦屋市教育委員会
芦屋市造形教育研究会